

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あっとほーむ見附		
○保護者評価実施期間	7年 12月 1日		7年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	7年 12月 1日		7年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	8年 1月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・言語聴覚士や保育士による専門的な支援を実施していること。	・ひとりひとりのお子さまに応じた訓練や課題を実施しています。個別もしくは2～4名程度の小集団で集中できる環境を整え、教材には視覚的ツールや好きなキャラクターなども用いて、興味、関心をひきつける工夫をしています。ご褒美カードなども活用するときもあります。	・5領域多岐にわたり、言語聴覚士、保育士だけではなく全職員が訓練や課題を行えるように、研修や指導を受け実施していけるように職員のスキルアップを目指していきたいと思います。
2	・長期休みや土曜日に、買い物や乗り物などの社会体験できる計画を立てています。	・長期休みや土曜日の1日利用時が中心になりますが、子どもたちの要望なども聞き計画を立てています。外食やお買い物体験では、自分で選ぶ、公共の場での過ごし方、支払いの仕方など、実体験をし身に付けていけるように支援をしています。調理実習などもリクエストが多くあり、公民館の広い調理場で作りみんなで食べています。	・子ども達や保護者様からの要望や意見を聞きながら、社会勉強ができる機会を継続していきます。活動内容が固定化しない様に工夫していきます。調理などはメニューを考えるとところから始めることなども盛り込んでいきたいと考えています。
3	・あっとほーむの名前のように、温かく受け入れる体制づくり、また、気軽にいつでも相談や話しができる雰囲気心を掛けています。	・どんな障害の方でも、温かく迎え入れたい気持ちをもち、悩み事や困りごとなどにもいつでも相談できる体制づくり、職員同士も話し合いで意見や考えが出し合える雰囲気づくりを心掛けています。	・個々に応じた療育ができるように、自発的に調べる、本を読む、社内研修、社外研修などを定期的におこない、子どもの支援を更によりよく、子どもの成長を喜び、職員が前向きな姿勢で望めるように職員の連携やチームワークを大切に築いていきたいと思ます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・車いすの方などが利用するには、施設内に手すりがない、トイレが狭い、スロープがない等、設備面で不十分なところ。	・現在車いすの方の利用はいけませんので、トイレが狭いことや手すりが無く困っている現状はありません。しかし、いろいろな障害をお持ちの方を受け入れる為に、過ごしやすい環境を整える必要が出てくることを想定しています。	・賃貸物件ということもあり、すぐに手直し等できないこともあります。できる範囲で過ごしやすい環境を整えていきたいと考えています。
2	・地域交流、児童クラブなどとの交流する機会が少ないこと。	・平日は過ごす時間が短いこともあり、平日は他の地域の方、児童クラブなどとの交流は難しい現状もあります。また、障害を理解して頂かないと交流は難しい面があると考えています。	・地域でのイベントなどに参加できる時には参加をしていくことや他事業所さん児童クラブさんと関わりをもつことから始めていきたいと思ます。顔の見える関係性を作りたいと思ます。
3	・広さゆえの音が響くことや冬場は裸足で過ごす足元が冷えること。	・施設は天井が高く大きな音が響きます。大きな音が苦手、不快という方は、イヤーマフを準備しています。本人様がお持ちの方もいらっしゃいます。それから、冬場でも滑らずはだしが良くて過ごされています。雪の降る時期は暖房をつけていますが、足元が冷えます。	・フロアで過ごすときには声の大きさの説明や注意を促すことがあります。冷えにはマットの上で過ごしてもらう、設定温度を高くする等の配慮をしています。ファンを置いてみることも検討していきます。